



Title	学校教育の変化を教師はいかに捉えるか ある教師の行動記録と語り
Author(s)	畑中, 大路
Citation	長崎大学教育学部紀要, 5, pp.87-101; 2019
Issue Date	2019-03-01
URL	http://hdl.handle.net/10069/39123
Right	

This document is downloaded at: 2019-06-16T02:56:11Z

学校教育の変化を教師はいかに捉えるか

— ある教師の行動記録と語り —

畑 中 大 路

長崎大学大学院教育学研究科

How Do Teachers View the Changes to Education?: Focusing on the Document of a Teacher's Behavior and Narrative

Taiji HATANAKA

I. はじめに

「時代が変われば教育も変わる」。昨今の急激な社会変化を踏まえるならば、近年の学校教育の変化の大きさが窺えよう。数年後、数十年後に「今」を振り返ったとき、現在は、「教育の大きな転換期であった」と言われているかもしれない。

この大きな転換期にある（かもしれない）今、学校教育や教員の状況やその変化の様子を記録しておくことは意義ある作業であろう。そこで本稿では、筆者がかつて行った教員調査データ資料を提示するとともに（Ⅱ）、当該資料をもととした教師の語りから「学校教育の変化」を捉えたい（Ⅲ）。その意味で、本稿は「資料」としての位置づけにある。

次節に提示する教員調査データについて説明する。当該調査は2009年9月14日～18日に、竹島小学校の出畑教諭に対して行った参与観察で得たものである⁽¹⁾。筆者は当時、竹島小学校をフィールドとした調査活動を継続して行っており、当該調査はその期間中に集中して行ったものである。調査にあたっては、調査対象者である出畑教諭にICレコーダーを携帯してもらい、会話等の発言を録音した。また同時に筆者は、出畑教諭のシャドーイングを行い、時間・場所・行動内容・接触相手等を筆記記録した。次節に提示するデータは、これら2つを統合して作成した9月14日の行動調査データである。なお、本稿データにおける氏名・学校名等は全て仮名である。

当時、出畑教諭が勤務していた竹島小学校は市内東部に位置する学校で、90年代前半の児童数増加により、金武小学校から分離開校した学校であった。竹島小学校は、「三つの川に囲まれ、季節によって水鳥が飛来し、水辺の自然を有する地域」⁽²⁾にあり、「校舎の東側には会社関係の倉庫が立ち並び、各地から大型トラックが頻繁に出入りする市内の流通の拠点」⁽²⁾という特徴を持つ。児童数は2000年前半より1,000人を超し、調査を行った前年度には、それまで教室として使用してきたプレハブを解体して新校舎の増設が行われた。

当該調査の対象である出畑氏は、調査当時、教職経験年数28年、竹島小学校は初任校から数えて7校目の勤務校、在籍3年目、異動時より教務主任を担っていた。調査時の出畑氏は、病気休職中の6年3組教諭の代替として担任を担っており、教務主任との兼任であっ

た⁽³⁾。また、2009年当時の竹島小学校は、教職員数62名、校長は初任（副校長からの自校内昇任）、副校長・教頭は赴任1年目（教頭は中学校籍）であった。なお、出畑氏は調査翌年度から、教頭（2010～2016年度）・校長（2017年度）を務めた後、現在は早期退職して大学院にて臨床心理学を学んでいる。

調査活動期間中の竹島小学校では、翌月上旬に実施予定の運動会へ向けた学年練習や全校練習、運動会に関する企画委員会、職員会議等が行われていた。

II. 2009年9月14日出畑教諭の1日

番号	時刻	内 容
(1)	7:18	出勤
(2)	7:20	職員室でA教諭と会話。
(3)	7:23	印刷室へ移動、学級通信の印刷。
(4)	7:24	職員室へ移動、児童欠席の電話対応。電話内容をホワイトボードに記入。
(5)	7:25	児童靴箱（新館）へ移動、鍵を開ける。
(6)	7:27	更衣室へ移動、1時間目体育へ向け着替え。
(7)	7:32	6-3へ移動、板書「おはようございます。体操服に着替えてください。」
(8)	7:34	児童靴箱（本館）へ移動、鍵を開け玄関マットの位置を整える。
(9)	7:35	職員室へ移動、6年学年主任B教諭と会話（地域で開催中のお祭り、夜間パトロールについて）。
(10)	7:36	企画委員会 ⁽⁴⁾ で提案予定の運動会案内文を作成しながら、7:24欠席児童について教頭と会話。
(11)	7:37	C教諭から配布資料を受け取る。
(12)	7:42	配布資料を置きに教員連絡BOXへ。
(13)	7:43	互助会バレー練習試合へ向けた練習試合時間について用務員と会話。教員向け連絡黒板へ、次回試合日程（9/25）の記入。
(14)	7:44	運動会案内文作成の続き。
(15)	7:51	児童欠席の電話対応。
(16)	7:56	印刷室へ移動。
(17)	7:57	一度職員室へ戻り、7:51電話内容を担任D教諭へ伝達。
(18)	7:58	印刷室へ戻り、E教諭、F教諭と会話（他校講師の不祥事について）。
(19)	7:59	職員室へ戻る。
(20)	8:00	児童欠席の電話対応。
(21)	8:01	8:00電話内容を担任G教諭へ伝達。
(22)	8:03	6年教員陣と組体操（運動会種目）について会話。
(23)	8:04	児童欠席の電話対応。
(24)	8:06	8:04電話内容をふせんに記入し、教頭へ説明。児童対応。
(25)	8:07	出勤してきた8:04児童の担任H教諭へ対応の内容を伝える
(26)	8:08	I教諭から保護者を対象とした給食試食会の会費について尋ねられる。 J教諭から明日の体育館の使用予定状況について尋ねられる。 K教諭から学級で使用するボール破損の対応について尋ねられる。

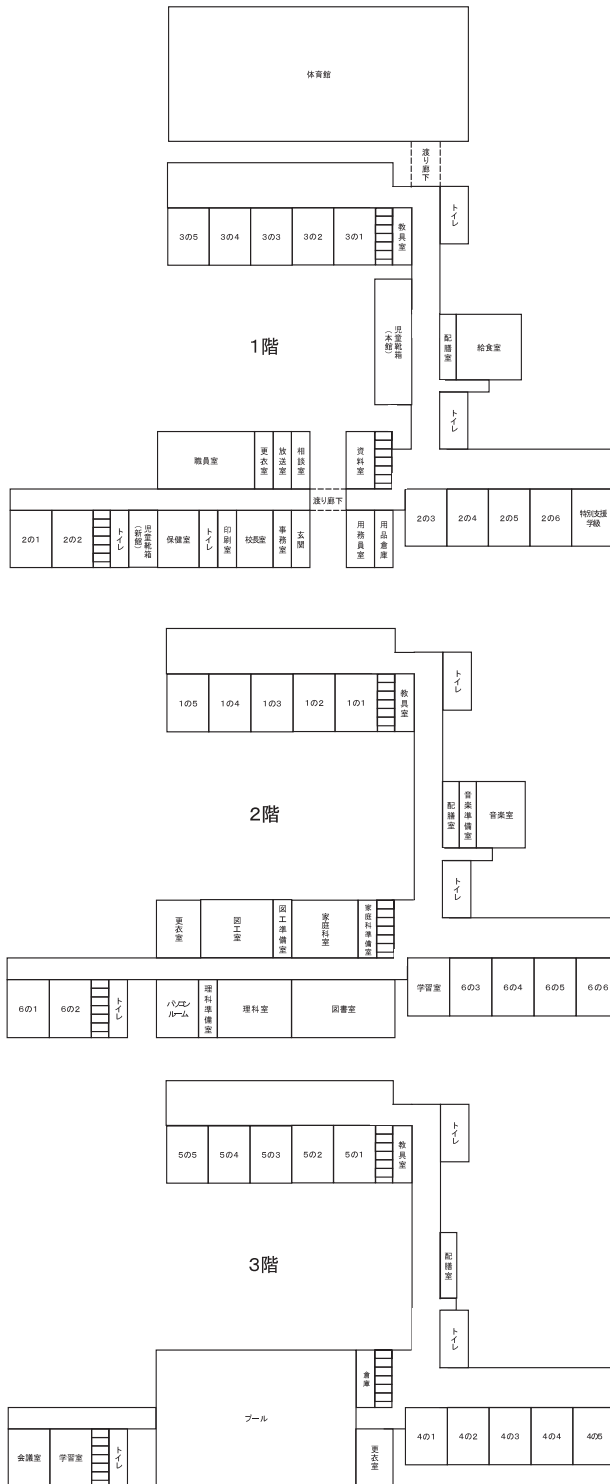
番号	時刻	内 容
(27)	8:09	コーヒーを飲む。
(28)	8:10	L教諭へ7:24電話内容を伝える。 放送室へ移動、校内チャイムの動作確認。
(29)	8:11	6-3へ移動。6-3児童の宿題確認、学級事務、児童へ声かけ。
(30)	8:12	朝の会開始。
(31)	8:39	朝自習開始。職員室へ移動し、職員へ朝礼の全校放送。
(32)	8:40	a児の連絡簿へコメント記入。
(33)	8:42	職員朝礼の司会担当M教諭（4年）と打ち合わせ。職員朝礼開始。
(34)	8:46	職員朝礼終了。6-3へ移動。 6-3児童を1時間目の学年合同体育（体育館）へ移動させる。
(35)	8:48	廊下でN教諭のファイルを発見。職員室へ移動し、N教諭の机に置く。 体育館へ移動。途中で足踏みマット位置を整える。
(36)	8:50	体育館で8:40 a児の連絡簿コメント記入の続き。
(37)	8:58	体育開始。
(38)	8:59	全体での挨拶後、8:40 a児の連絡簿コメント記入の続き。
(39)	9:00	児童へ組体操の指導。
(40)	9:02	8:40 a児の連絡簿コメント記入の続き。その後、組体操の指導。
(41)	9:43	体育終了。体育館の電気消灯。
(42)	9:45	職員室へ移動し、6年教員陣と会話。 職員室横非常ドアの工事確認、業者と会話。 職員室へ移動、8:40 a児の連絡簿を自分の机に置く。
(43)	9:46	トイレ後、2時間目合同体育（運動場）へ移動。 体育開始、組体操の指導。
(44)	9:53	「頭痛がする」というb児へ対応、保健室へ行かせる。 引き続き組体操の指導。
(45)	10:35	体育終了。
(46)	10:39	保健室へ移動、9:53 b児に声かけ。 職員室へ移動、8:48のファイルについてN教諭と会話。
(47)	10:43	回覧資料へ目を通し、押印。
(48)	10:44	PTA 役員対応。
(49)	10:46	O教諭、P教諭とお茶を飲みながら会話（「O先生、髪きったねー」）。
(50)	10:47	保健室へ移動、9:53 b児に声かけ（「授業行くよ」）。b児は保健室に残る。
(51)	10:49	6-3へ移動、3時間目授業開始（国語）。
(52)	10:51	9:53 b児の保護者へ電話をかけに職員室へ移動。
(53)	11:05	保健室で養護教諭へ、9:53 b児の体温を尋ねる。 職員室へ移動、9:53 b児保護者へ電話。
(54)	11:12	6-3へ移動、授業再開。
(55)	11:35	授業終了。

番号	時刻	内 容
(56)	11:38	9:53 b 児教室へ戻ってくる。廊下で b 児に容態を尋ねる。
(57)	11:40	6-3 で学級事務 (連絡簿, 出席簿, 宿題確認)。
(58)	11:41	4 時間目授業開始 (算数)。6-3 補助に入っている Q 講師と TT。T 2 をしながら教室掲示の作成。
(59)	12:27	授業終了。Q 講師と授業の打ち合わせ後, 給食指導。
(60)	12:38	6-3 横の学習室へ移動, 戸締り。
(61)	12:39	職員室へ移動。用務員室前で 9:53 b 児の親と会う。
(62)	12:40	6-3 へ戻り, 9:53 b 児を保護者へ引き渡す。
(63)	12:41	職員室へ移動, Q 講師の給食を取りに行く。職員室で教員たちと会話。
(64)	12:42	6-3 へ戻る。児童を落ち着かせる。
(65)	12:46	給食開始。児童へ指導。 「はい, 食べながらでいいので聞いて。今46分でしょう。開始の時間 (12:40) を過ぎてるでしょう。前の算数の時間, 25分にきっちり終わったよね。当番が準備し終わるのが35分ぐらいになってます。何回も言うけど, 手洗いとかトイレとか5分で行ってきて。30分には準備を終わらせてください。」
(66)	12:51	給食を食べた後, 児童指導。その後, 学級事務開始。
(67)	12:58	低学年 c 児と担任の R 教諭がやってくる (昨日の下校時, c 児を蹴った犯人捜し)。6-3 教室で状況説明。
(68)	13:01	12:58 内容について 6-3 児童へ聞き取り。
(69)	13:05	職員室から教室へ電話がかかる。電話対応後, 引き続き児童指導。
(70)	13:12	給食終了。連絡帳記入の声かけ (「1 時20分までに連絡帳を記入して持ってきてください」)。その後, 児童の連絡帳確認。
(71)	13:24	6-6 S 教諭と 12:58 について廊下で会話。
(72)	13:28	職員室へ移動。職員回覧の文書確認。歯磨き。教員への連絡黒板記入。
(73)	13:35	インフルエンザ増加について周囲の教員と会話。
(74)	13:43	副校長と企画委員会提案について話す。
(75)	13:49	トイレ。
(76)	13:50	相談室へ移動。室内の整備。
(77)	13:51	6-3 へ移動。掃除開始。掃除指導。
(78)	13:56	職員室から電話がかかる。職員室へ移動。
(79)	13:57	職員室で用務を済ませ, 相談室へ移動。児童へ掃除指導。
(80)	13:59	事務室へ移動。掃除指導。
(81)	14:01	相談室へ移動。掃除指導。
(82)	14:05	6-3 へ移動。掃除指導。
(83)	14:07	6-3 前の手洗い場へ移動。掃除指導。
(84)	14:09	6-3 へ移動。掃除指導。
(85)	14:11	6-3 前の手洗い場へ移動。掃除指導。
(86)	14:12	6-3 へ移動。掃除指導。掃除終了。

番号	時刻	内 容
(87)	14:13	5時間目の理科室移動のため、廊下で児童を整列させる。児童出発。
(88)	14:15	Q講師と運動会に関して会話。
(89)	14:17	Q講師へ、掃除道具整理の依頼。
(90)	14:18	職員室へ移動。Q講師と掃除指導について話す。 印刷室へ移動。教員向けの週行事予定表の印刷。 職員室へ移動。教員連絡BOXへ週行事予定の配布。
(91)	14:28	T教諭と会話（髪形について）。Q講師と6-3児童への指導について話す。
(92)	14:31	翌日の参観授業へ向けた授業準備。
(93)	14:43	副校長・教頭から、秋の音楽会の給食の有無について尋ねられる。
(94)	14:45	印刷室へ移動。印刷しながら学童保育職員と会話。P教諭と会話。
(95)	14:50	6-3へ移動。教室掲示を整える。
(96)	15:05	6-3児童が理科室から帰ってくる。学級事務。 児童へ指示（「帰りの用意してくださいーい」）。
(97)	15:12	帰りの会。
(98)	15:13	帰りの会終了後、戸締り。日直児童に6-3前トイレの戸締りを指示。
(99)	15:14	教室戸締り。6-3児童の連絡帳確認。3人の児童へ宿題居残りを指示。
(100)	15:32	廊下電気消灯。廊下の棚整理。廊下の窓閉め。トイレ戸締り。
(101)	15:33	職員室へ移動。PTA役員と会話。 保護者：「先生、疲れてませんか？」 出畑氏：「疲れてます…」
(102)	15:36	6年学年会の開始。明日の授業参観について打ち合わせ。
(103)	15:44	学年会終了。印刷室へ移動。 印刷しながらU教諭、V教諭と会話。（廊下から、子どもを大声で叱るW教諭の声が聞こえる。）
(104)	15:45	職員室へ移動。6年教員陣と明日の授業参観教材について会話。
(105)	15:49	6年教員陣と組体操について会話。 その後、印刷室へ移動。裏紙をおく。6-3へ移動。
(106)	15:50	15:14の児童3人を下校させる。
(107)	15:56	6-3で明日の授業参観の板書計画作成。
(108)	16:02	6-5担任のX教諭と会話。（14:17掃除道具について）
(109)	16:03	職員室へ移動。マグネットをとり6-3へ移動。板書計画の続き。
(110)	16:07	板書計画終了
(111)	16:08	更衣室へ移動。スーツへ着替える。
(112)	16:19	職員室へ移動。「企画委員会始まります」と全校放送でアナウンス。
(113)	16:20	校長室へ移動。企画委員会開始。 運動会の会場配置（テント等）について提案。
(114)	16:50	企画委員会終了。
(115)	16:52	職員室へ移動。企画委員会内容について5年学年主任Y教諭と会話。
(116)	16:54	職員向け連絡黒板の記入

番号	時刻	内 容
(117)	16:56	Q講師から、6年掲示板への掲示方法について相談される。
(118)	16:59	Z教諭から研究授業予定について相談される。
(119)	17:00	用務員と会話。職員向け連絡黒板の記入再開。
(120)	17:03	Q講師と6-3指導体制について会話。
(121)	17:11	Q講師と学年会内容について会話。
(122)	17:12	互助会バレー練習試合への出発時間を用務員へ確認。 お茶を飲む。 C教諭と明日の出張内容の確認。
(123)	17:13	電話対応, トラブル発生(下校時, 6年d児のバットが1年e児に当たると。e児の保護者が加害児童dの保護者へ治療費を請求)。
(124)	17:18	B教諭, 生徒指導主任Aa教諭と17:13電話内容の共有
(125)	17:20	B教諭と新館3階へ移動。 運動場を見下ろしながら, 企画委員会で提案した運動会会場配置について相談。
(126)	17:32	職員室へ移動。
(127)	17:37	Q講師と16:56学年掲示板内容について協議。
(128)	17:38	用務員へ練習試合の出発時間について再度確認。 運動会会場配置について, B教諭から尋ねられる。
(129)	17:39	Q講師と16:56掲示板について協議。
(130)	17:39	B教諭と運動会会場配置について協議。
(131)	17:40	互助会バレー練習試合へ出発。 到着後, 練習試合開始。
(132)	19:20	バレー終了。帰宅。

2009年当時のX小学校校舎配置



Ⅲ. 2018年9月21日出畑氏の語り

前節の行動調査データを出畑氏に提示し、「振り返り」を求めるインタビュー調査を実施した。インタビュー調査は2018年9月21日に実施したものであるが、当該調査2週間前にあらかじめ行動調査データを渡し読み込んでもらったうえで、非構造化形式で約1時間半実施した。以下はインタビューで得た出畑氏の語りである⁽⁵⁾。

出畑氏：部分部分でね、感じることもしかなかったからね。例えば、ここ、(1) 7時18分を見たときに、俺はその、校長・教頭の立場から(見たときに)、出勤が遅いかなって思ったんよ。まあ、その時は思わなかったけど、今、俺がこういう立場で辞めた感じでしたら、「ああ、この教務(主任)、普通の感じやね」って。もっと遅い人もいるんだけど、そういう意味じゃあ、自分のことを大事にしてるかなあっていうか。あんまり、管理職…ただ、俺が(竹島小に)いたときには、いつも、教頭先生とかも(先に)来てたし。そういう意味では、向こう(=管理職)はね、何も思わんやったのかもしれないけど。

で、えっと、その次に思ったのが、電話対応の数がやっぱりあるけど、そこそこ電話対応してたんだなって思ったんよ。で、その電話対応が結構ね、「担任へ」って書いておけばいいのに、伝達したりとか、そのことで話をしたりとかしてるところをみたら、結構丁寧に、受けた電話は返してたんだなっていう感じがした。どうなんかな。あんまりこれ、しない人も多いもんね、今考えたら。だからまあ、結構、電話対応って大事だなって思ってたのかなあって。

ここね、(5) 7時25分の鍵開けとか、書いてるのを見たら、今思ったらというか、もともと、その、この地域では、鍵開け・鍵閉めとかは教頭とか管理職がする仕事なんよね。

畑中：その時も。

出畑氏：うん。で、確かに教務(主任)だからって言ってしてたけど。今考えたら、どうなのかなっていうのはちょっと思うのと。その時ちょっと、竹島小が良かったのはね、帰りがけは学年で、結構、閉めてたところがあって。全部見て回らなくてよかったんよ。俺、教頭が長かったからなんだけど、(中略)俺は教頭になったときには、管理職の仕事だからって言って、鍵を閉めて回ったりしたけど。全部見て回っていったら、どんなに小さな学校でも30分ぐらいは歩かないといけないもんね。だからそんな考えたら、まあ、(管理職の)その仕事をしてあげてたのかなっていうのはちょっと感じたかな。あとまあ、その時に、めったにこう、感じてたわけではないけど、(中略)(当時、竹島小にいた教員が)「竹島小では、学年の人としかしゃべらない」とか(言っていて)、なんかもう、あんまりに人が多すぎて。1日に何人もしゃべらないみたいなことをちらっと言ってたからね。その当時、無理やりじゃないけど、たくさんの人と、やっぱり話さないといけないなって思ってたんじゃないかなという気は、何となく感じる。あの、意図的じゃないかもしれんけど、そんな感じがした。

で、この当時、クラスをもっていたじゃない。だから、ほら、朝の会とか職員朝礼とか

あるのに、まあ、その、時間見つけて教室に行ったりとか、宿題とかの点検してたのであれば、まあ、その、教務（主任）の仕事をしながら、結構落とさないようにね、仕事してたんだねっていう感じがした。まあ、これが実際、その時のルーティーンだったのかね、その時の気持ちで適当に動いてたのかが今ではわからないけど。

まあ、分刻みでね、色々こう、その時、その時思ったことをやってたような気がした。で、なんか、あの、教頭の仕事と違うのは、教頭は外部対応もするんだけど、自分でれをするか選べるようなところがあるんよ。例えば、「今は、運動会の案内状（作成）をする」、「今は、こっちの先生が困ってるからそこに行った方がいい」って。同じ、（時間が）平行に走ってても、自分で選択する余地が結構あるんだけど。教務（主任）の場合は、時間軸に沿って、どんどん動くような感じがあって。その時にこれしか、そんな広い選択肢がないなかで、動いていっているような感じは受けた。

で、(44) b 児が、単に気分が悪くなって熱が出たぐらいの感じにしては、ずっと結構気を付けて関わってるねって感じがした。結構、今の流れでいったらね、遅刻してても、担任が電話かけないで、養護教諭に任せるとかね。遅刻とかがあっても、いちいちその、担任がその、教室を離れて（職員室に電話をかけに）来てたらあれだから、管理職が電話するとかいうシステムをとってるところが多いんだよ。竹島小は、まだ、担任が電話するみたいなのがまだあったけど、そういった意味では、保健室とかにも任せきってはないかなという感じも受けるし。

そんな合間でもね、(49) O 先生に「髪切ったね」とか。そんな余裕があるんやろうね。で、バタバタした割には余裕があったんやろうねって。うん。そんな感じがした。（中略）

(67) c 児の犯人探しとかしてるのに、この後に、何も確認していないところが不思議な気がした。普通だったら、「それどうなった」とか後で聞いたりとか、その日の夜にあたりとかしてもよさそうな気もするんだけど。

畑中：翌日に、その話を少ししている場面はありました。あんまり、でも、深くは（話して）なかったです。

出畑氏：無責任やねって。恐らく、見つかったぐらいに思ったのかもしれないけど。（中略）

で、(75) トイレって書いてて。トイレってあんまり行ってないやねって思った。（中略）トイレには行かない割には、(72) 歯磨きとか、このときからちゃんとしてたんだって、ちょっと思った。

で、(79) 掃除も結構まじめに（やっている）。子どもたちの状況もあったのかもしれないけど。一般的に、適当にしか見ていない人もいとすれば、まあまあかなと思ったりするし。(89) Qさんに掃除道具とかちゃんと見ててねとか言ったりしているなら、そんな連絡も割とこまめにしよるのかなって思った。

参観とか次の日にあったんだね。（中略）。

(90) 印刷室へ移動っていうのは。（中略）竹島小って、（児童が）1,100人ぐらいいたんだよね。それで、1枚プリント刷るっていったら、平気で20~30分かかりよったし、それをポスティングするまでいったら、1枚30分ぐらいかかってたもんね。だから、俺、

あの当時、一番最初に竹島小に行ったときに、初めての授業参観と、遠足のプリントを2枚出したのに、全員に、全クラスにポスティングして、2枚のプリント終わった、っていうのに1時間半ぐらいかかったんよ。それで悔しかったから、3台あった機械に全部クラス数のメモリーを打って、どの機械でもすぐに出せるようにした。(中略)印刷は、(自分が印刷機に)付いてなくてもできるようにしたんだけど。やっぱり、中規模校とかの教務(主任)とは感覚がやっぱり、全然違ってたね。特に夏休みとかね、例えば、「文化会館に行こう」とかチラシがきたりするんだよね。「水族館に行こう」とか。それ、全部捨てたらいいんだけど、教育委員会がなんかこう、後援したりしてたら捨てるわけにはいかないものもたくさんあってね。それを配るのがものすごく時間がかかる。で、それもね、一つ配るのに、全部ポスティングするのに25分ぐらいかかったのかな。そのチラシが夏休み前に3枚とかきたら、悲惨なものよね。(中略)そんなのを、いかに効率化して時間を狭めるかっていうのを、物凄く、この当時工夫してた時代だった。要らないことは最低限にしようって。そんなのを思い出した感じがするな。

それと、ここに、(99)居残りを指示とかしているけど、クラスが荒れてて、(それなのに)居残りとか指示するんだって思って不思議だった。基本今、子どもの下校時刻を守らせなさいとかいう時代だから、まあ、竹島小あんまり、そんなの(に対する)文句なかったのかなと思うけど。今の時代の流れって、宿題しなかったら残すとかほとんどさせないもんね。やっぱり、下校時刻を合わせて、先生たち次の会議があるから、何かあってもピチッと帰せみたい。まだ(当時の)竹島小はそういう(ことができる)時代だったのかもしれん。

畑中：今だったら考えられない？

出畑氏：なかなか。できないだろうねえ。あとこれ、(101)「疲れてます」って正直に言うんだって思った。なんか俺、例えば保護者とかが「疲れてませんか」とか、「いや大丈夫ですよ」とか言いそうな気がするのに。疲れてるって言うんだって。やっぱり、疲れてるっていう気持ちを伝えたかったとか、そういうニュアンスもあるんだろうね。(中略)

(103) 大声で叱る声が聞こえるって書いてるのに、聞こえたのに廊下に出たりしなかったのかなあって。なんか、普通なんかね、何かあったらぱっと出るのが基本なのに、安心してたのかな。出てない。「お前出るよ」って感じがちょっとしたね。

畑中：印刷室で一緒にいる先生と、「何か怒りよるね」みたいな会話(をしました)。

出畑氏：(中略)ここに入って、ほら、(111)スーツに着替えるってあるやない。だから、会議の時にスーツに着替えてたんだって思ったら、ちょっと偉いなって思って。あのね、俺、あの、竹島小に行く前は、教務(主任)でも、スーツで全然仕事してなかったんよ。だから、綿パンと、本当に好きな格好で教務(主任)の仕事してた。そしたらね、竹島小に行ったら、鈴木校長っていう校長がいて、その人が、なんか、「スーツ着ないと、つまらん」みたいなことを何かの時に俺に言ったんよ。で、「えっ」て言ったんよ。スー

ツとかは、掃除とかする時は、埃かぶるしね。作業っちゅうか、子どもと活動する服装じゃないから、そういうのって学校に合わない、みたいなことを(鈴木校長に)俺が言ったら、「いや、そうじゃない」みたいな言い方をしなかったんよ。なんか、そんな言い方をしなかったんよ。で、ああ、別に一つの意見として言ってるんやねって思ってた。鈴木校長ってなんか、割とこう、(中略)子ども目線な先生でね。割といばってない校長やったんよ。俺が会った校長の中でも。そのときでも、県の校長会の会長してたんだけどね。そういう人が、そんなに俺を非難しなかったんだけど。鈴木校長って、学校にいるときには、校長室の掃除を子どもと一緒にしてて。スーツのまま、廊下に膝ついて水拭きとかする人だったんよ。何かその様子を見て、この人、スーツ着て膝ついてね、水拭きする人やったら、この人が言うんだったら、まあ、しないとイケないのかなっていう気になって。俺、おそらく、はっきりわからんけど、この時何歳かわからんけど、「40にして立つ」ぐらいだったら「40何歳だから何か…」って言って、嫁さんにスーツ買ってもらって。(中略)おそらく、そのスーツを着て行きだしたんかな。その頃と思う。じゃないと、スーツ、わざわざ着替えんと思う。だってもう、あと帰るだけやろう。

畑中：しかもそのあとバレーだからですね。

出畑氏：ねえ。だから、へえって思った。

畑中：僕これですね、覚えてるんですけど、(別の時に)聞いたんですよ。「スーツ着替えるんですね」って聞いたら、(中略)「子どもに着替えろって言ってるんだから、自分たちも着替えなきゃね」って(出畑氏に)言われたのを僕は覚えてて。

出畑氏：へー、そうなんだ。

畑中：今その話聞いて、ちょっと、そうだったんだって。へー。(中略)

出畑氏：あとは、(123) トラブルが発生してても、バレーに行ったぐらいの対応で良かったのかなって思った。これがよくわからなかったんだけどね。治療費を請求とか書いてるから、結構大事なことだったんじゃないかなって思ったんだけど。この時点でAaさんと話して、今日はこれで大丈夫ってなったんかね。それが不思議やったんよ。

畑中：多分ですね。

出畑氏：多分、ちょっと、どうやったんかね。Aaは大学時代の同級生だったから、よく知ってる人だったから、安心して見てたのかもしれないけど。だけど、よくこんなのが起こってるのに、バレーに行ったねって思うのと。バレーが終わった後、自宅に帰るとすれば、結構楽しんでるなっていう気がした。(バレーの後)学校に帰って、とかじゃないしね。あんまりその、気にしてないで、そこそこ、「これはこれ、それはそれ」、「5時になったら」とか言って、割とまあ、こだわっていない感じがしたね。

あと全般的に思ったのは、出勤して小刻みな動きが多いなあと思ったのと、じっくり何かに取り組んでいる時間はほとんどないねって。教務（主任）という仕事と6年生担任であり、ということが大切か何となくわかってたから、そういう6年担任も出来た。教務（主任）1年目じゃないよね、教務（主任）何年目かだったから、出来たんやろなあと思うのと。

俺その当時、先生たちが、結構省エネ化して、事務ができるような、行事予定とかもそういう風に組もうとしていた。そんなの伝わらないと思うけど、例えば、先生たちがやりやすい日程とか。例えばその、よく分からないかもしれんけど、学期末が忙しく、成績で忙しいときには、成績をつける時間をきちんと取ろうとか。なんかこう、時間割を工夫して、先生たちが楽できるように詰めようとか。成績処理の、その当時あんまり、小学校でしていなかったけど、パソコンで入れたら成績が全部出るようにしていこうとか。色々こう、取っ掛かり的には、先生たちが楽にできるようなことを、こう、提案していたし。（中略）割とほら、教務（主任）ってこっち側（＝管理職側）って思われそんなことがあるんだけど。まあ、こっち側（＝教諭側）って思われてたようなところもあったし。それでも、管理職の先生方は可愛がってくれてたからね。そういう意味じゃ、やりやすかったかなと思うね。

実際には本当に何人と話したかはわからんけど、まあ、あのとき（竹島小の教職員は）60人ぐらいいたけど、（1日で）20人以上とは話してたような気もするし、まあまあかなと。けどまあ、それは、そんな風に勝手にさせてもらったのは、やっぱり、校長・教頭から信頼を得たうえでさせてもらってるし。そういうのを好まない管理職もいたとすれば、そういう巡り合わせがよかったのかなって思う。まあ、人によって全然違うやろうね。

俺も（校長・教頭時代は、）例えば教務（主任）に、「もっとこんな風にしたら」とか聞いたようなこともしたことがあるし。（中略）なんかな、逆に、こういう立場（＝教務主任）であればいくらでも色々な提案はできるんだけど、逆に（管理職として）学校の経営体制とか守っていかないといけなくなったときに、「去年はこうしてました」とか教頭に言われて、「こうしたほうが、地域受けがいいと思います」とか言われたときに、じゃあ赴任1年目で、「俺変えるから」とか言える人は、よっぽど信念持ってる人だろうねって思う。（中略）

で、あと、これ、今、組織が固くなってるんよ。それはね、例えば、教育振興基本計画、それはほら、法的な流れの中で、そういうのを自治体が作らなくちゃいけなくなって、どういう目標を立てたら、じゃあその結果を出せとか。やっぱりその、お金（＝税金）出してるんだからするやない。ただ、今学校の方も、校長の学校経営に対してどうするかとか言っって、そこにしか向かえないみたいな、組織が固くなってるところがあるんよね。だから、本当に今の教務（主任の仕事）が自由度があるかっていったら、自由度が低いような、そこをさせない管理職が増えているかもしれないし。なんかこう、わからないけど、今の俺が知ってる中で、トップダウンじゃなくて、そういう、教務（主任）とかミドルリーダーが、自信もって「俺たちがこうしたい」とか言っって、どんどんしてる学校ってそんなにない。何割にも満たないんじゃないかなって気がするね。（中略）だから、実際には、やりたいなあとか思ってる今のミドルリーダーであっても、「今言っ

たら怒られるな」とか思ったら、賢い人は、それをかえって言わないような、そういう時代になりつつあるのかもしれないって思うね。俺は、自分がそれで嫌われてもいいみたいな気持ちはずっとあったし、基本的には好きなことを言ってきたりしたから、教頭とか長かったんじゃないかなって思うね。だから、そこはうまくね、「校長先生のおっしゃる通りです」的なことをもっとうまく立ち回ってれば、もっと早く管理職になったと思うし。そういう人はそういう人で、はやく立ち回れば、それこそ自分の思うような学校経営をね（することができる）。それがいいかどうかは抜きにしても。だから、そういうところで、校長に好かれなかった教頭とかが腐ったり、病気になったり。ずっと校長になれないで終わったりするやつを俺も見だし。

（中略）（竹島小の時は）楽しかったと思うね。やっぱりこう、おそらくね、竹島小が、あまりにも人が多くて。職員会議したって60人いたとしたらさ、一人が一言言ったらさ、会議が絶対進まないよね。だって、職員会議の時間って1時間って決まったら、一人が1分なんか言ったら、もう終わらないもんね。でもそれをさせないために、事前の企画委員会とかで充分意見吸って、出し直すとか、みんなの意見を事前に察して出さないと、会議の時間が長くなったり、何回も行き来して大変なことになる。そういう意味じゃ、教務（主任）がいかに、それまで、職員会議までにみんなの意見を吸い上げてするか。（中略）

畑中：もう一個だけ、最後に一つだけいいですか。今、当時を振り返っていただきながら話していただいた。その時どう思っていたかだったり、今の立場から見て、この動きはどうだったかという形で話していただいたんですけど。もうちょっと客観的に。ちょこちょこ出てはきたんですけど。このあと先生、教頭、校長と管理職の経験をされたうえで、それを踏まえて、当時のご自身にアドバイスするとすれば、何かありますか。こういった働き方をしたほうがいい、こういった動き方だったり。考え方をしたほうがいい…

出畑氏：あー

畑中：一日のデータなので、難しいかもしれないんですけど。

出畑氏：そうねえ。俺、なんか、気持ちとしてはね、あんまり精神レベルとしては中学校の時からあんまり変わってないような気がしてるところがあるので。（中略）今俺が、その時の自分に、タイムマシンで帰って、声かけるとしたら、「お前、そのままでもいいよ」って声かけたい気がする。で、別にそこで、人に気を遣ってするわけじゃなくて、今お前がしている方法ですれば、俺は別に、同じ回り道して、今こんな風になる。なってるか、なっていないかは分からないけど。でも、その好きなことをしてたことは、無駄にはならないだろうし。そこで得たものっていうのは、なんかこう、何かに繋がったんじゃないのっていうのは声かけたいかな。あ、だから特に指導したいとは思わないし、「お前もっとこうしなさい」とも思わないかな。「ここをこう変えなさい」とは思わない。「ああ、お前そんなこと思ってるなら、そのまま思ったことを、そのままいっ

てね」「続けてね」って。「迷ったら、先に相談してね」って、その場の校長だったら言うかなと思う。そういう、管理職に見てもらえたら、もっと能力発揮できたんじゃないかな。結局、短い（教職生活の）スパンの中で、竹島小にいたときっていうのが一番自由にさせてもらえたし、それ以降、そんなにいい校長には巡り合わなかった。まあ、それ以降もその前もね。そんなにいい校長には巡り会ってないね。

畑中：この頃は、結構自由にさせてもらってたっていうのと、相談も割とよくできていた。

出畑氏：そうね。と思うね。まあなんかその、教務的な仕事で、校長とか教頭から「ああしたら」とか「こうしたら」とかケチ付けられたことなかったし。事前にね、厳しいところではね、2週間前に校長に見せなさい、そして1週間前に企画委員会がある、で、校長に言われたことは全部変えなさいみたいな所があるけど。結構、（竹島小では）企画委員会にストレートに、俺が思っていることを持って行って、今年からこんな変えたいとか言っても、その場で結構対応してくれてるところがあった。やかましく、あーやこーや言ったり、「事前にちゃんと（言いなさい）」、「そんな急に言ったら困るやろう」とか、そんな文句言われたことなかった。それぐらい自由度が高い職場だった。

畑中：そうなんです。竹島小じゃないと、この調査はできなかったですね。本当に。固い（組織の）中で、教務主任の先生に一日ついて回っても、それこそ何も面白くなかったかもしれないですね。

出畑氏：まあね。色々なタイプの教務（主任）がいるから何とも言えないけど。でもいま、（10年前と）同じような調査をしても、うーん、自由度の高い人って少ないかもしれないね。（周りから）「変わり者」とか言われているかもしれないね。（中略）学級担任とかも、もっと今、大変な事態になってるもんね。保護者の対応とかももっと厳しい時代に入ってるから。なんか、守ることを、管理職自体が守ることに力を入れてしまいたいような感じで。「こんなことをしたら、保護者からこんな文句言われるかもしれない」って、だんだん縮こまっていく傾向があるからさ。担任とか、さらに厳しくなるよね。

だから、昔で言ったら、例えば、(123) Aaさんとか、何かあったとしたら、今のね、管理職は「どんなことがあったの」って、「すぐ報告して」って言って、「教頭連れて行って、今すぐ謝りに行きなさい」とか、すぐ指示するんだけど。まだ当時は、ある程度担任に任せて、担任が行きたければ行って来いって。逆に言ったら、担任が困ったって言ったら、学年主任が一緒に行っていとか言うような指示をしたような感じもあったかもしれないね。逆に、1から10まで相談されるっていうのは、教員のね、幅を狭めることではあるけど。

だけど、後になって問題が困難を伴ってきたときに、「校長知らなかったのか」とか、「何でそんなのを初期対応してないんだ」とかいうのも、やっぱり事例が多くなれば、やっぱりこう、そんな風になっていくもんね。担任のそういう動きっていうのは、小っちゃくなっていったのかもしれないね。答えになってないね。

畑中：いえいえいえ。答えはないので。ありがとうございます。貴重なお話を。

出畑氏：そうね。だけど、教務（主任）って最後の最後しか（担任の代替には）普通は出さないんだけど、竹島小は割と教務（主任）が入ってね。その時に教務（主任）に入らせるぐらいのクラスだったのかなって、ちょっと思うのと。でも、Q先生に最後任せて、最終的に卒業をQ先生にさせてもらったけど、俺おそらく、3学期の卒業ぐらいまでクラスにべったり入ってたら、体がどこかいかれてたんじゃないかなっていう感じはする。だから、この翌年に教頭になって竹島小を出たけど、おそらくQ先生が講師で来てなくて、違うもつと、しょうもない人やったとしたときに、「この人に担任任せられない」みたいな感じだったら、俺、生気を吸い取られるぐらい疲れてたやろうねって思う。あの11月か12月くらいに担任変わって、教務（主任）の仕事だけにある程度、おそらく1時間、朝の会・帰りの会、算数1時間ぐらいしかしなくなったから、それぐらいのレベルでしか関わらなくなったのは、本当に助かったなって思う。（以下、略）

IV おわりに

本稿では、ある教師の行動記録とその本人による「振り返り」を通じ、10年間の学校教育における変化を検討する「資料」を提示した。前節に提示した出畑氏の「振り返り」からは、この10年間における学校教育の変化や、現在の学校が抱える課題を読み取ることができるだろう。現在、教員の働き方改革をはじめとする様々な改革・検討が進行しているが、今後、本稿のようなミクロな視点から捉えた記録を残し、共有する作業も必要になるのではないだろうか。

注

- (1) 当該調査データの一部は、畑中大路（2018）『学校組織におけるミドル・アップダウン・マネジメント アイデアはいかにして生み出されるか』（ハーベスト社）で公表している。
- (2) 竹島小学校（2009）「平成21年度学校経営方針」より引用。
- (3) 6年3組は、「学級崩壊」に近い状況にあった。
- (4) 竹島小学校の企画委員会は、校長、副校長、教頭、教務主任、各学年主任、特別支援教育コーディネーター、専科担当、学校事務のメンバーで行われていた。
- (5) インタビューにおいて行動調査データ等へ言及している部分には、データの番号・下線を追記した。また、筆者による補足は（ ）で記載した。

【謝辞】

本稿の作成にあたり多大なご協力を頂いた出畑氏へ心よりお礼申し上げます。

